



【園芸施設共済】ご加入者の声



「物価高に見合った補償で、不測の事態に備える」

【長野県安曇野市 田中 詔二さん（82）】

栽培規模 = 水稲20a、スイートコーン・ネギ等を中心に
多品目栽培100a（ハウス5棟）



職員の勧めでR6年1月に園芸施設共済に加入しました。その年の4月の突風でハウス1棟が全壊し、隣のハウスにも骨材が飛び、ビニールが破れる大被害にあいました。まさか加入してすぐに、こんなにも大きな被害にあうとは思いませんでした。急な出来事でしたが撤去費用・復旧費用・付保割合追加特約とすべてのオプションを選択していたため、安心してハウスの再建をすることができました。

今年度は、復旧したハウスも共済に加入しました。昨今の物価高で建設費用も高騰しているため、建設時の見積もりを提出し、補償金額を上げて加入をしました。掛金は少し高くなりましたが、実際の価値に近い金額で補償してもらえるので、より安心して加入できました。近年は異常気象により、何が起こるか分からないので、継続して不測の事態に備えていきたいです。

（NOSAI長野の担当職員によるインタビューより）



【園芸施設共済】ご加入者の声



「自分自身での備えが大切」

【長野県坂城町 小宮山 弘之さん（49）】

栽培規模 = 水稲17a、花き15.5a（ハウス8棟、露地）



平成26年の大雪によりハウス5棟（内、新築2棟）が倒壊しました。新築ハウスに関しては建てた1週間後のことでした。まさか、倒壊するほどの被害が起こるとは思っておらず、とにかく園芸施設共済に加入しておいて「良かった」の一言に尽きます。

雪害だけでなく台風や日頃の突風などの風害にも備えることができます。ビニールのみの被害にも対応できるよう、1万円からの被害で共済金が支払われる「小損害特約」を選択しています。近年は異常気象により、何が起こるか分かりません。「自分自身で備える」ということが大切です。

また、収入保険にも加入しており経営の安定を図っています。

（NOSAI長野の担当職員によるインタビューより）